

独立行政法人大学改革支援・学位授与機構運営委員会（第73回）議事要旨

1 日 時 令和8年3月16日（月）15：00 ～ 15：58

2 場 所 WEB会議

3 出席者 石井、磯部、梶谷、川嶋、蔵川、小林、鴫田、高橋（哲）、戸田山、中野、新田、
宮崎、山本、吉川の各運営委員
（岸本、高橋（真）、安浦の各運営委員は委任状提出）
服部機構長、光石理事、西田理事、小笠原監事、前田監事、八田審議役、岡審議役、
小嶋調査役、東管理部長、成相評価事業部長、市川大学連携・支援部長

4 運営委員会（第72回）議事要旨について

令和7年9月24日に開催した運営委員会（第72回）議事要旨（案）が確認され、確定版として
了承された。

5 議 事

《審議事項》

（1）教員の選考等について

①特任教員の雇用更新について、②研究開発部長の選考について、③客員教員の選考について
審議が行われ、原案どおり承認された。

（2）各種委員会委員等の選考について

①学位審査会委員、専門委員、②各認証評価委員会委員、専門委員の選考について審議が行わ
れ、原案どおり承認された。

なお、今後欠員補充などの必要が生じ、任期開始までに運営委員会の開催が困難である場合に
は、その選考を会長に一任することとされた。

（3）令和8年度調査研究計画（案）について

令和8年度調査研究計画（案）について審議が行われ、原案どおり承認された。

主な意見は以下のとおり。

（○：運営委員、●：事務局）

- 今後、可能であれば、海外における理系進学者の女性比率に関する情報の収集についても検討
していただきたい。
- 海外の質保証機関とのネットワークを利用して情報収集していくことは可能であるため、今後
検討したい。
- 認証評価に関して、評価疲れ等、様々なテーマで研究いただいているが、大学としては、認証
評価結果をどのように改善に活かすかという点が課題である。研究結果について具体的な報告を
していただけると、各大学において改善の方向性のヒントを得る機会にもなり有益だと思うので、
検討いただきたい。
- 評価疲れの要因として、評価作業に対する心理的負担感や物理的負担感のほか、評価目的の不
透明感という意見もある。この点に注目して評価疲れを軽減させるためには、評価目的を明らか
にした上で、各大学の構成員にとって分かりやすい形で評価結果を伝えることが重要だと考えて
いる。今後は、評価結果の報告の仕方についても、評価の制度設計の一部として検討していき
たいと考えている。

《報告事項》

(1) 会長一任による各種委員会委員等の選考について

法科大学院認証評価委員会委員、国立大学教育研究評価委員会専門委員について、会長一任による追加発令があったことの報告があった。

6 その他

(1) 今期をもって退任する運営委員について、会長より紹介があった。

(2) 服部機構長から第 11 期の運営委員任期満了に伴い謝辞が述べられた。

以上